お子さんと

保護者の皆さんへ

学習の進め方について話してみませんか？

これからの社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難となっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。そして、明るい未来を、共に創っていきたい。

そうした願いが込められている学習指導要領の趣旨を実現するため、東京都教育委員会では、各学校に「学びに向かう力等に関する意識調査」（令和５年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」と同様の調査内容）をフォーム形式で配布することを通して、教員が子供たちの学習意欲や学習の進め方など、学びに向かう力等に関する意識を把握し、分析できるようにしています。

各学校では、この調査結果等を活用し、子供たちの学習に関する意識の状況を明らかにし、日々授業改善に取り組んでいます。

この「お子さんと学習の進め方について話してみませんか？」では、お子さんの学習や生活について御家庭で取り組んでいただきたいことを紹介しています。お子さんのよりよい学びに向けて、御活用いただきますようお願いいたします。

令和６年11月　東京都教育委員会

1 これから求められる資質・能力とは

グローバル化や人工知能（ＡＩ）などの技術革新が急速に進み、予測困難なこれからの時代。子供たちには自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、自ら判断して行動し、よりよい社会や人生を切り拓いていく力が求められます。学習指導要領では、教育課程全体や教科等の学びを通じて「何ができるようになるのか」という観点から、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱からなる「資質・能力」をバランスよく育んでいくことを目指しています。

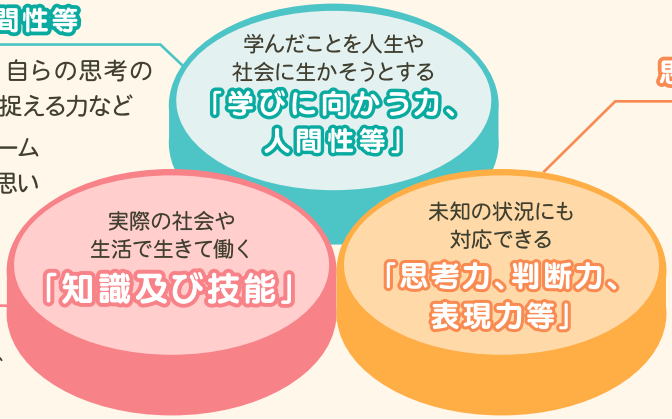
資質・能力の三つの柱

学びに向かう力、人間性等

- 学びに向かう力や、自らの思考のプロセス等を客観的に捉える力など
- リーダーシップやチームワーク、感性、優しさや思いやりなど

知識及び技能

- 各教科等に関する個別の知識や技能など



思考力、判断力、表現力等

- 問題を発見し、解決を図り、そのプロセスを振り返って次の問題発見・解決につなげていくことや、協力しながら問題を解決していくことのために必要な力など

次のような 児童の姿が学校で見られるようになっていきます。

2 学習の進め方と授業の理解の程度との関係

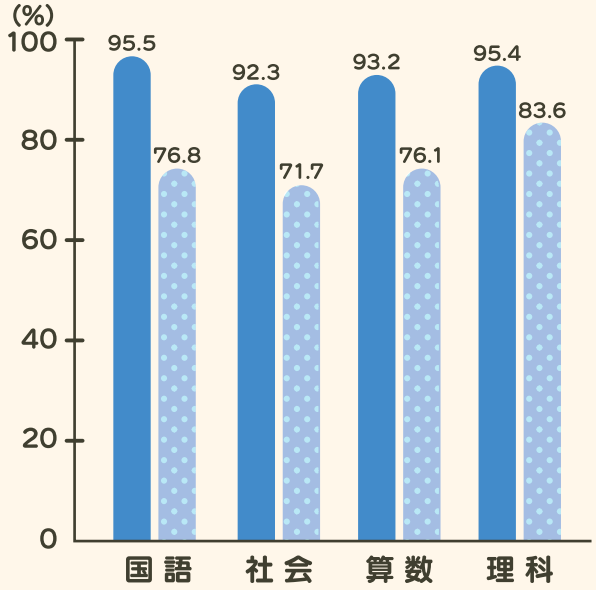
次のように学習を進めている児童は、授業の内容を分かると感じる傾向がみられます。

- ✓ 大切な言葉や公式などは、意味を理解して覚えるようにしている。
- ✓ 問題の答え合わせをするときに、答えが合っているかどうかだけではなく、その問題の考え方も確かめている。

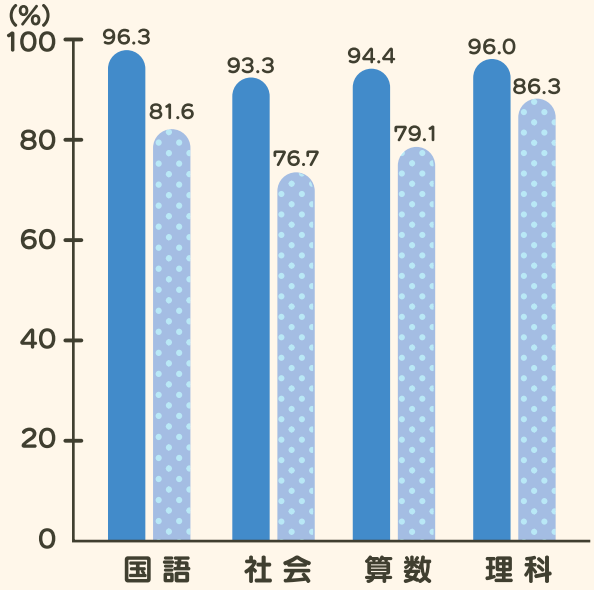
令和５年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」児童調査の結果から

※小学校第４学年から第６学年までの児童の回答結果をまとめたもの

大切な言葉や公式などは、意味を理解して覚えるようにしていることと授業の理解の程度との関係



答えだけではなく、考え方も確かめながら学習していることと授業の理解の程度との関係



その学習の進め方をしている児童のうち、授業を分かると感じている児童の割合

その学習の進め方をしていない児童のうち、授業を分かると感じている児童の割合

※ その学習の進め方をしている児童……それぞれの学習の進め方について、「当てはまる」又は「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童
※ その学習の進め方をしていない児童…それぞれの学習の進め方について、「当てはまらない」又は「どちらかといえば当てはまらない」と回答した児童
※ 授業を分かると感じている児童……各教科の授業の内容について、「よく分かる」又は「どちらかといえば分かる」と回答した児童

家庭で学習するときも、大切な言葉や公式の意味を理解して覚えたり、テストで間違えた問題を振り返って、その問題の考え方などを確かめ、理解したりすることが重要です。お子さんの学習の様子を見て、自分で効果的に学習を進められるように、声を掛けてみましょう。

次のページからは、お子さんが、効果的な学習の進め方を身に付けられるように、家庭で取り組むことができる支援の例を紹介します。

3 お子さんの学習を家庭で支援する取組例

「令和６年度全国学力・学習状況調査」小学校国語 2 三の問題

調査の結果

ア「きょうぎ」の正答率	
48.9%（東京都（公立））	43.4%（全国（公立））

イ「なげる」の正答率	
77.3%（東京都（公立））	76.0%（全国（公立））

これらの調査結果から、漢字を文の中で正しく使うことに課題があることが分かりました。

ア きょうぎの作戦を考えたりします。

正答 「競技」

上級生が遠くからボールを イ なげる

正答 「投（げる）」

高山さんは、【高山さんの文章】を読み返し、習っている漢字がひらがなになっていた――部ア、イを漢字に書き直すことにしました。次の――部ア、イを漢字でていねいに書きましょう。

漢字の学習において、どのように学習を進めることが大切なのでしょうか。

間違えた漢字を直したり、新しい漢字を学習したりするときは、
漢字の読み方や字形に注意しながら、

漢字のもつ意味を考えることが大切！

「きょうぎ」と読む漢字には、どのようなものがあるかな？

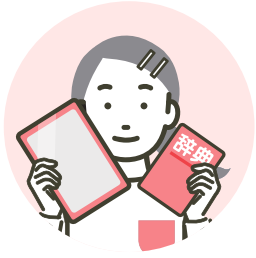
うーん。「協議」「競技」「きょう…」・・・。あまり思い付かないな。

読み方が同じ漢字をもっと調べてみよう。それぞれ、どんな意味があるか一緒に調べてみるとおもしろいよ！

同じ読み方の熟語を調べ、熟語の意味を考えるきっかけを与えてみましょう。

同じ読み方の漢字の意味を知りたいときは、どのように調べることができるかな？

お子さん自身に学習の方法について考えさせてみましょう。



学校で同じ読み方の漢字を調べたときは、国語辞典やタブレット端末を使ったよ。

調べて分かったことをノートにまとめておくといいね。

お子さんのノート記載例

「きょうぎ」と読む熟語

漢字	意味
協議	集まって相談すること。
競技	わざをきそうこと。運動競技。スポーツ。
経木	①木材を紙のようにうすくけずったもの。 ②経文や法名を書くはば二十五センチほどの細長い板。

はじめて学習する漢字は、何度も書いたり、熟語を調べたりすることは多いけれど、こうやって意味を調べると、更に分かるようになるね。

今回の問題だと、「競技」の漢字が正解だとすぐに分かったよ。

熟語の意味を学ぶことの大切さに気付けるようにしましょう。

また、同じ読み方の漢字を更に調べるよう声を掛け、お子さんが主体的に学習に取り組む機会を作りましょう。

漢字のもつ意味を考えることについては、

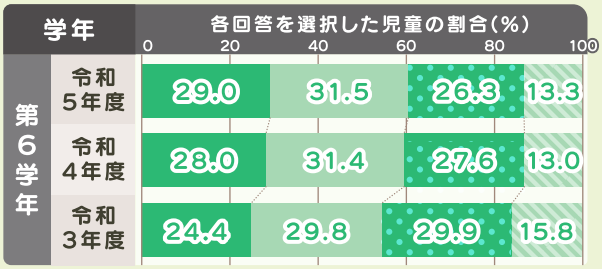
【令和５年度版】お子さんの学力向上のために必要なこと

でも紹介しています。

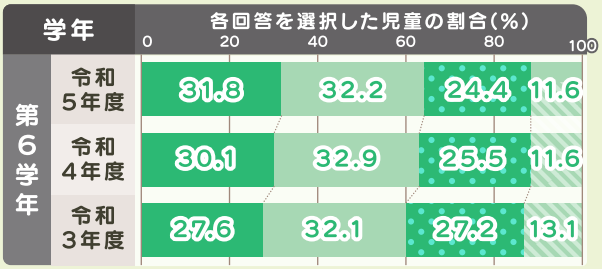
コラム

漢字のもつ意味を考えながら学習することが大切

調査項目5(2)
「漢字の部首の意味も考えながら覚えている。」



調査項目5(3)
「似た意味や反対の意味の漢字、使われている熟語などを確かめながら覚えている。」



当てはまる　どちらかといえば当てはまる　どちらかといえば当てはまらない　当てはまらない

「令和５年度『児童・生徒の学力向上を図るための調査』東京都全体の調査結果」より

これまでの「児童・生徒の学力向上を図るための調査」では、「漢字の部首の意味も考えながら覚えている。」や「似た意味や反対の意味の漢字、使われている熟語などを確かめながら覚えている。」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合が、増加傾向にあることが分かりました。

この結果は、学校で、漢字のもつ意味を考えながら学習することを大切にした授業改善の成果だと考えられます。お子さんが御家庭で学習をしているときにも、国語辞典や漢字辞典を使って、似た意味や反対の意味の漢字を一緒に調べるなど、積極的に声を掛けてみましょう。

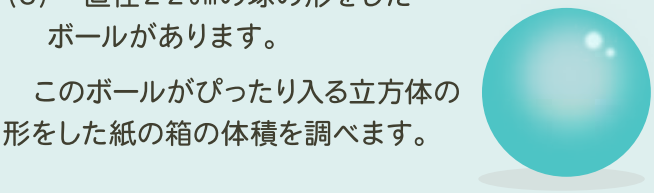
4 お子さんの学習を家庭で支援する取組例

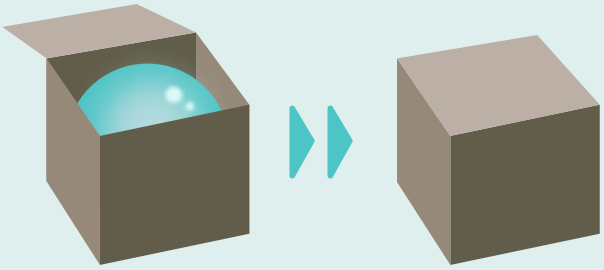
「令和６年度全国学力・学習状況調査」小学校算数 3 (3)の問題

3 ことねさんたちは、いろいろな立体について学習してきたことをふり返っています。

(3) 直径２２cmの球の形をしたボールがあります。

このボールがぴったり入る立方体の形をした紙の箱の体積を調べます。





この立方体の形をした紙の箱の体積が何cm^3かを求める式を書きましょう。

ただし、紙の厚さは考えないものとします。また、計算の答えを書く必要はありません。

調査の結果

	平均正答率	無解答率
東京都（公立）	45.3%	10.8%
全国（公立）	36.5%	9.8%

本設問は、球の直径の長さと立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうかをみる問題です。図形を構成する要素に着目し、図形の体積の求め方を考えることが大切です。本設問では、球の形をしたボールがぴったり入る立方体の形をした箱の一辺の長さが、ボールの直径の長さと等しくなることを捉えることが必要になります。本設問に取り組むに当たり、**普段からどのようなことを意識することが大切なのでしょうか。**

どうやったらうまくいくかを

考えてから学習を始めるようにすることが大切！

箱の体積を求めるには、どうすればいいかな？

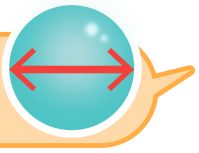
公式を使えばいいと思う。「(縦)×(横)×(高さ)」だよ。

あれ？　箱の「縦」「横」「高さ」が分からないな？

学校の授業等で学んだことを説明することができるよう、声を掛けてみましょう。

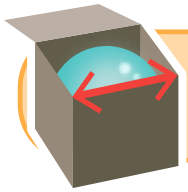
ボールの直径はどこかな？

ここだと思う。(線を引くなど)



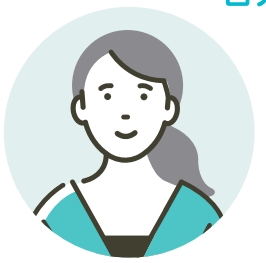
4 算数

ボールの直径と同じ長さなのはどこ？



ボールがぴったり入るということは、
ここが同じ長さだと思う。
（線を引くなど）

長さが等しい部分に線を引くなどして、必要となる部分を丁寧に確認し、
自分の考えを説明できるように工夫して声を掛けてみましょう。



「縦」「横」「高さ」が、22㎝だと分かったよ。

体積を求める式ができそうだね！

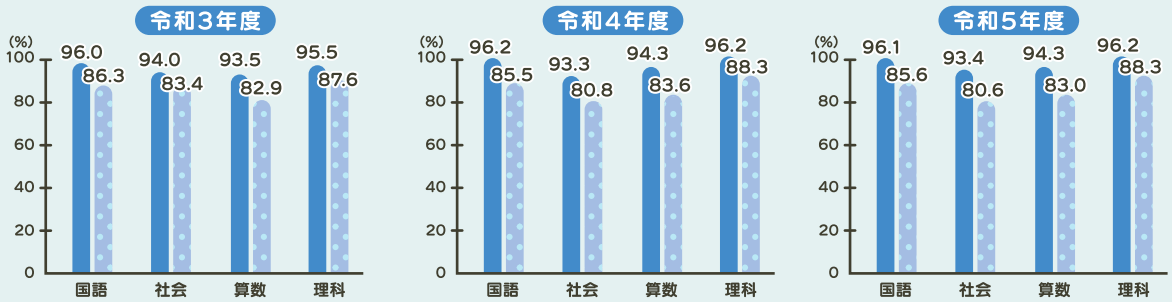
「22×22×22」になった！

球と立方体のどの部分が同じ長さなのか、
線を引くなどして考えると、理解しやすくなります。
また、普段の生活でも、身近にあるものの形を
詳しく見ていくと、別のおもしろい見方ができるかもしれません。

コラム

考えてから学習を始めるようにすることが大切！

どうやったらうまくいくかを考えてから学習を始めるようにしていることと授業の理解との関係



その学習の進め方をしている児童・生徒のうち、授業を分かると感じている児童の割合
その学習の進め方をしていない児童・生徒のうち、授業を分かると感じている児童の割合

「『児童・生徒の学力向上を図るための調査』東京都全体の調査結果」より

これまでの「児童・生徒の学力向上を図るための調査」では、
「どうやったらうまくいくかを考えてから学習を始めるようにしている。」に
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童は、
「当てはまらない」「どちらかといえば当てはまらない」と回答した児童よりも
各教科の授業が分かると感じる傾向があると分かりました。
御家庭でも、日頃から、「どうやったらいいかな？」と疑問をもつよう声を掛けたり、
「どんな方法があるかな？」などと見通しをもたせたりするよう、積極的に関わってみましょう。

5 お子さんとの会話を充実させるポイント

要約したり、言い換えたりするなど、表現のヒントを示しましょう

伝えたい内容を言葉で表現できるようにしたいとき

お子さんの伝えようとする気持ちを大切にしながら、話の内容を要約したり、別の表現に言い換えたりするなどして、お子さんが自分の伝えたい内容にふさわしい表現を考えられるようにすることが大切です。

お子さんが伝えようとしていることを受け止め、要約したり、言い換えたりするなど、表現のヒントを示しましょう。

解決の見通しをもたせたり、取組を振り返らせたりしましょう

難しい課題を解決できるようにしたいとき

保護者の方が、すぐに解決方法を示すのではなく、解決への見通しをもたせたり、うまくいかない原因を振り返らせたりするなどして、お子さんが自分で解決できるようにすることが大切です。

お子さんの様子を見ながら、解決の見通しをもたせたり、それまでの取組を振り返らせたりしましょう。

考えた理由や根拠をお子さんに確認しましょう

筋道を立てて自分の考えを説明できるようにしたいとき

保護者の方が納得できたとしても、他の人も同じように納得できるとは限りません。当たり前と思えることでも、理由や根拠を確かめるなどして、お子さんが自分の考えを筋道立てて説明できるようにすることが大切です。

お子さんの考えたことについて、そのように考えた理由や根拠を確かめましょう。

お子さんが、保護者の方に安心して自分の考えを伝えられるように、

以下のようなことにも気を付けてみましょう

- ✓ お子さんの顔を見て、会話をしましょう。
- ✓ うなずいたり、受け止めの言葉を発したりするなど、積極的に聞いている姿勢を示しましょう。
- ✓ お子さんの話を、最初から否定しないで聞きましょう。
- ✓ お子さんの話を、最後までさえぎらずに聞きましょう。